

3. 調査結果報告

3-9. 「男女共用個室トイレ」のレイアウト（オフィス・公共施設）

②「男女共用個室トイレ」の並列レイアウト：3パターン比較

アンケート画面での提示画像：「個室トイレ」並列レイアウト（3パターン）と説明

➤ 個室トイレが横並びに配置されたパターン1～3のレイアウトに関し、「男女共用個室トイレ」を利用する場合のA／Bの選好を尋ねた。

Q. AとB、2つのトイレのレイアウトパターンについて、あなたが利用するならどちらがよいと思いますか？ ※職場や駅・ショッピングセンターなど、施設の種類を限定せずにお考え下さい。

パターン1

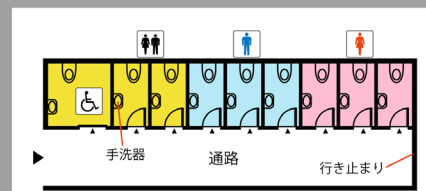
通路通り抜け
状況の違い

- ✓ 男女共用、男性用、女性用がそれぞれある。
- ✓ 個室に手洗い器がある（外にはない）。

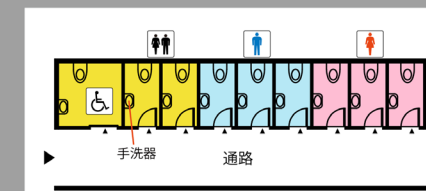
A：通路の奥は行き止まり。
B：通路は通り抜けができる。

パターン1：共通事項

- ✓ 男女共用、男性用、女性用がそれぞれある。
- ✓ 個室の中に手洗い器がある。



A：通路の奥は行き止まり



B：通路は通り抜けができる

パターン2

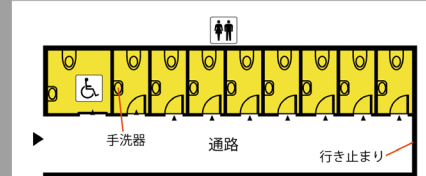
通路通り抜け
状況の違い

- ✓ すべて男女共用。
- ✓ 個室に手洗い器がある（外にはない）。

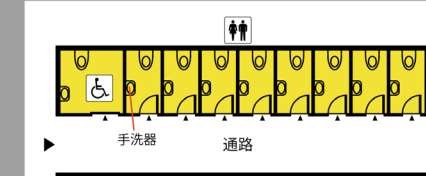
A：通路の奥は行き止まり。
B：通路は通り抜けができる。

パターン2：共通事項

- ✓ すべて男女共用。
- ✓ 個室の中に手洗い器がある。



A：通路の奥は行き止まり



B：通路は通り抜けができる

パターン3

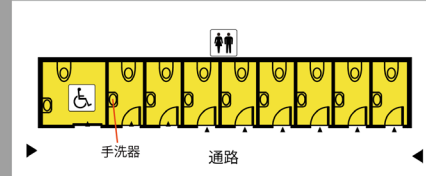
手洗い器設置
場所の違い

- ✓ すべて男女共用。
- ✓ 通路は通り抜けができる。

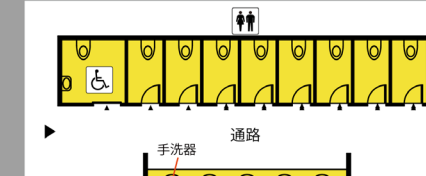
A：個室の中に手洗い器がある。
B：個室の外に手洗い器がある。

パターン3：共通事項

- ✓ すべて男女共用。
- ✓ 通路は通り抜けができる。



A：個室の中に手洗い器がある

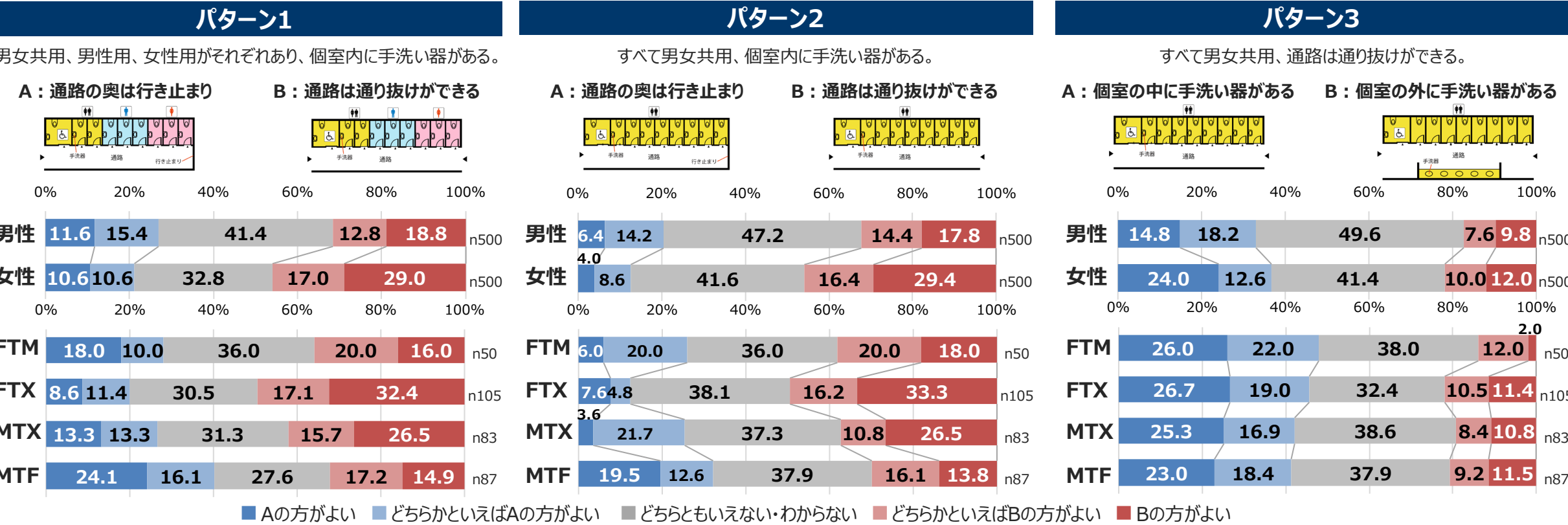


B：個室の外に手洗い器がある

個室トイレ横並び配置パターンの選好：通路の通り抜け状況／手洗い器の設置位置（オフィス・公共施設）

- パターン1と2では、MTFを除き、行き止まりのAよりも通り抜けができるBの方が「よい」と回答した人の割合が高い。
シス女性とFTXではその傾向が強く、特にパターン2でのAの支持が低い。
- パターン3では、手洗い器が個室内部にあるAの方が、個室外部にあるBよりも「よい」と回答した人の割合が高く、シスよりもトランスの方がその傾向が強い。
- どのパターンおよびジェンダーでも、「どちらともいえない・わからない」と回答した人が3～5割存在する。

Q. AとB、2つのトイレのレイアウトパターンについて、あなたが利用するならどちらがよいと思いますか？※職場や駅・ショッピングセンターなど、施設の種類を限定せずにお考え下さい。



個室トイレ横並び配置パターンの選好理由：総括

Q. AとB、2つのトイレのレイアウトパターンについて、あなたが利用するならどちらがよいと思いますか？ ※職場や駅・ショッピングセンターなど、施設の種類を限定せずにお考え下さい。

上記を尋ねた後、そのように思った理由を尋ねた。

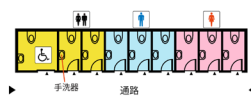
パターン1

男女共用、男性用、女性用がそれぞれあり、個室内に手洗い器がある。

A：通路の奥は行き止まり



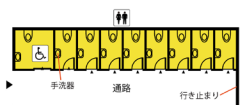
B：通路は通り抜けができる



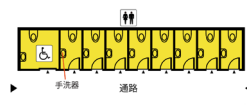
パターン2

すべて男女共用、個室内に手洗い器がある。

A：通路の奥は行き止まり



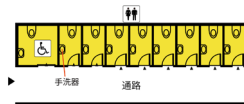
B：通路は通り抜けができる



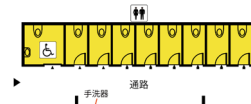
パターン3

すべて男女共用、通路は通り抜けができる。

A：個室の中に手洗い器がある



B：個室の外に手洗い器がある



共通事項

- 最も多いコメントは「特になし」「なんとなく」であり、馴染みのないレイアウトから想像しづらかった、あるいはそれほど関心がないことも考えられる。
- 3パターンのコメントとも大きくは“利便性”、“安心感”、“防犯性”に分けられる。“防犯性”については、通路が「行き止まり」か「通り抜け」であることに対し、それぞれ不安または安心の意見があり、感じ方に個人差がみられた。

パターン1

- Aの選好理由として、シス男性とトランスでは「男女共用が手前にある方がよい」という意見が、シスは男女共に「奥に女性用がある方が男性が近づきにくい」点を評価する意見が目立った。
- シス女性では、Aを選択した人（21.2%）に対し、Bを選択した人（46.0%）は倍以上だが、Bの選好理由では、“防犯性”で「何かあったときに逃げられる」という意見が目立った。また、「通り抜けできる方が便利だし共用トイレも利用しやすい」との“利便性”をあげる意見もあった。

パターン2

- “防犯性”に関するAとBの選好理由はパターン1とほぼ同じであった。
- “利便性”では、すべて男女共用であるため、Aは「1列に並びやすい」、Bは「流れがスムーズ」といった点が評価された。“安心感”では、AとBでどちらが「異性とのすれ違い」が少ないと考えるかで評価が分かれた。
- Bでは、通り抜けられる方が「他人の目が気にならない」ことを評価する意見がシス女性とトランスでみられた。

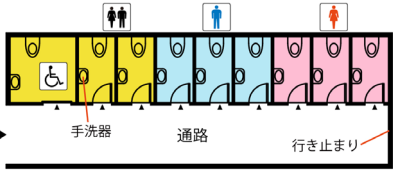
パターン3

- シス・トランス共通のA選好理由として、「人目を気にせず手を洗える」、「男女が顔を合わせる機会が減る」などの“安心感”に関するものが目立った。
- “利便性”に関しては、「個室で手洗いまで完結できる」、「手洗い時に待たない」ことを評価する人はAを、「個室に手洗いがあると回転率が下がる」と捉える人はBを選択している。“衛生面”に関しては、「汚れた手でドアを触りたくない」と考える人はAを、「手を洗った後にドアを触りたくない」と考える人はBを選択している。

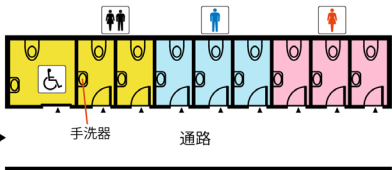
パターン1：通路通り抜け状況の違いによる選好理由（自由回答）／ALL個室並列型（共用・男女別）

パターン1
共通事項

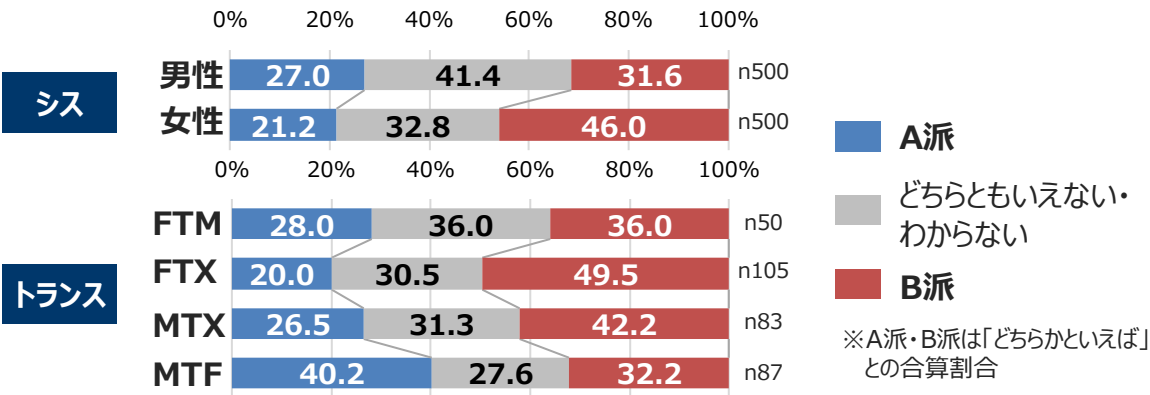
男女共用、男性用、女性用がそれぞれあり、個室に手洗い器がある。
A：通路の奥は行き止まり



B：通路は通り抜けができる



- B派の方が多数派であり、特にシス女性とFTXは半数近い。MTFはA派が約4割であるが、他のジェンダーのA派は2割台であった。
- Aの選好理由として、シス男性とトランスでは「男女共用が手前にある方がよい」という意見があり、「手前にあること」は共用の利用し易さのポイントといえる。
- 「防犯性」では、A派は「男性が女性トイレの方まで来にくい」、B派は「危険時に逃げやすい」が上がり、性別分けする際には男性が女性トイレに近づきにくい配置が求められる。



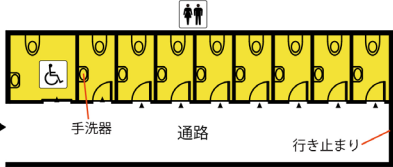
カテゴリ			A（通路行き止まり）の方がよいと思った理由（代表例）		カテゴリ			B（通路通り抜け可）の方が良いと思った理由（代表例）	
シス	男性	利便性	男女共用が手前にある方がわかりやすい。		男性	利便性	通り抜けができた方が便利だから。		
		安心感	異性とすれ違うことが少なくなりそう。			安心感	男性・女性両方の側から入ると、異性に会わずに済む可能性が高い。		
		防犯性	女性トイレが奥の方が男性が近づきにくい。			防犯性	何かあったらすぐその場から逃げられる。		
	女性	安心感	女性トイレが奥にある方が安心。		女性	利便性	通り抜けができた方が便利だし、共用トイレも利用しやすい。		
		防犯性	女子トイレに異性が近づきにくそう。			安心感	通り抜けられる方が閉塞感がない。		
			Bのように女性トイレの前を通り抜けられるようにしないでほしいから。			防犯性	危険なことがあってもすぐ逃げられる。		
トランス	利便性	男女共用の個室が出入りに近いので利用しやすい。		トランス	安心感	どちらからも通れるほうが周りの目が気にならなそう。			
	安心感	（共用トイレ利用時に）あまり多くの人の目にさらされないから。				閉塞感がなくストレスが少なくて済みそう。			
	防犯性	Bは犯罪者が逃走しやすいから。			防犯性	通り抜け出来た方が安全面でもよい。			

パターン2：通路通り抜け状況の違いによる選好理由（自由回答）／ALL個室並列型（共用のみ）

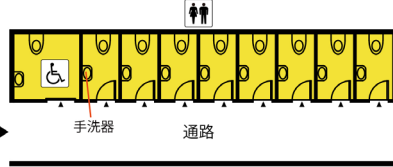
パターン2
共通事項

すべて男女共用、
個室に手洗い器がある。

A：通路の奥は
行き止まり



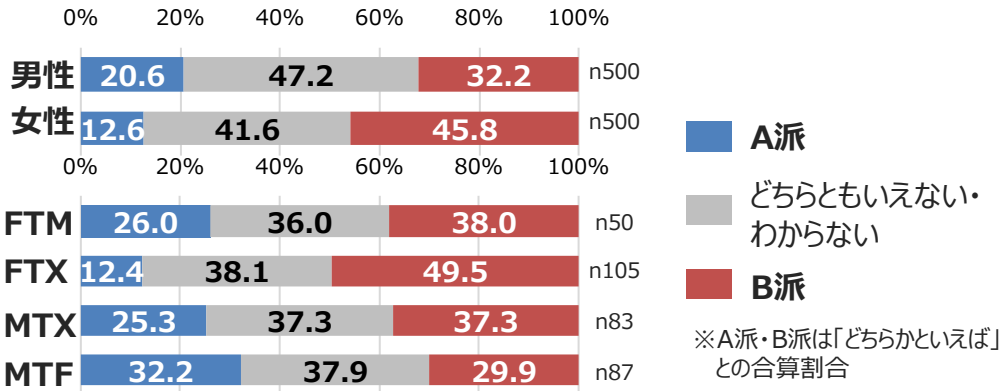
B：通路は通り抜け
ができる



- パターン1同様B派の方が多数派であり、特にシス女性とFTXは半数近い。A派はシス女性とFTXは1割強、他は2～3割であった。
- Aの選好理由として、「並びやすい」、「Bは並び方がわからない」があり、「トイレに並ぶこと」が前提となっている。
- B派は、「通り抜けできること」に対し、人の流れをスムーズにする利便性や、異性のすれ違いを減らす安心感、危険時に逃げられる防犯性などを感じている。

シス

トランス



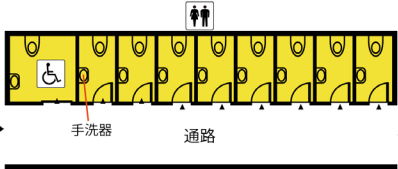
		カテゴリ	A（通路行き止まり）の方がよいと思った理由（代表例）		カテゴリ	B（通路通り抜け可）の方が良いと思った理由（代表例）
シス	男性	利便性	すべて誰でも入れるなら一列に並びやすい。	男性	利便性	通り抜け出来る方が人の流れがスムーズにいくと思う。
			Bはどちらに並べばよいかわかりづらそう。		安心感	異性とすれ違う機会を少なくできる。
		安心感	男女がすれ違う可能性が低い。		防犯性	行き止まりが無い方が犯罪が減りそう。
	女性	利便性	通り抜け出来ない方が同じ方向に向かって並びやすい。	女性	利便性	男女共用ならどちらかでも通ることができた方が便利。
			Bは並び方がわからない。		安心感	通り抜け出来た方が、異性とのすれ違いを少なくできそう。
		防犯性	Bのように通り抜けられると犯罪者が逃げやすい。		防犯性	危険なことがあってもすぐ逃げられる。
トランス	利便性	車椅子用トイレが手前にある方がよい。	トランス	利便性	通り抜け出来る方が気軽に利用し易い。自然に個室に入れる印象。	
		Bは並んでもどちらが先かわからなくなる。		安心感	どちらからも通れる方が周りの目が気にならなさそう。	
	防犯性	Bは犯罪者が逃走しやすい。		防犯性	Aのように行き止まりだと何かあったときに逃げられない。	

パターン3：手洗い器の設置位置による選好理由（自由回答）／ALL個室並列型（共用のみ）

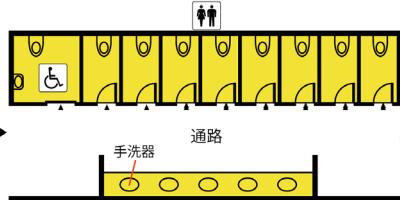
パターン3
共通事項

すべて男女共用、
通路は通り抜けができる。

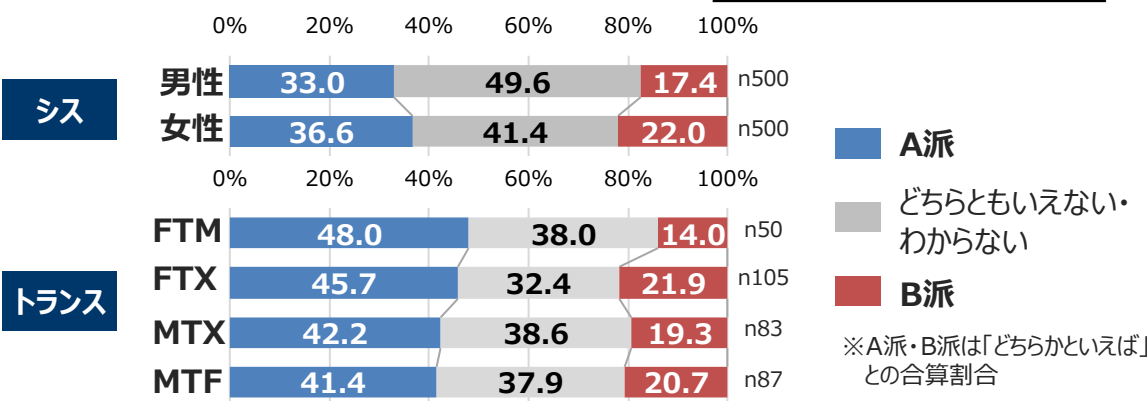
A：個室の中に
手洗い器がある



B：個室の外に
手洗い器がある



- すべてのジェンダーでA派が多数派であるが、シス男女の3割台に対し、トランスは4割台であり、トランスの方がAを支持する人の割合が高い。
- Aの選好理由では、個室で行為が完結できる利便性のほか、人目を気にせずに手を洗える安心感が主であった。
- Bの選好理由では、回転率の高さや、個室に手洗い器があると汚れる、個室から出た後に手を洗いたいなど衛生面に関する意見が目立った。
- 男女共用トイレでは、個室に手洗い器を設置することを基本とし、外にも手洗い器を設置することが望ましいといえる。



カテゴリ		A（個室に手洗い器がある）の方がよいと思った理由（代表例）	カテゴリ		B（個室外に手洗い器がある）の方が良いと思った理由（代表例）
シス	男性	利便性	男性	利便性	手洗い場だけ使いたい必要があるはず。
		安心感			個室の回転率がよくなるので効率的。
	女性	利便性		衛生面	個室に手洗い器があると汚れる。
		安心感			手洗いが外の方が個室の占有時間が減り、待ち時間が減る。
トランス	女性	プライバシーが守れる。すべて共用なら個室で化粧直しができる方がよい。	女性	衛生面	個室を出るときにドアを触るため、出てから手を洗いたい。
		手洗い場で異性と顔を合わせたくない・男女一緒はありえない。			個室に手洗いがあると床や壁が水しぶきで汚れるので清潔感がない。
	トランス	人目を気にせずに手洗いを済ませられる。		利便性	個室の利用時に待たされる時間が減りそう。
		他人との接触時間がほとんどなくストレスにならない。			トイレを利用しない時も手を洗うことができる。
トランス	安心感	Bだと手洗いの時に異性があると気まずい。	トランス	衛生面	個室から出る際に扉に触れるため、最後に手を洗いたい。